Ro 逆浸透膜フィルターについて（プロ者へのパーツ販売です）

（不慣れな人が直ぐ使うには難で、他の物品とセットで組み立てて販売する物の一部がこれです）

株式会社 環境テクノス
ＴＥＬ073-473-6644
ＦＡＸ073-473-6664
和田

この度は弊社販売のケース一体型逆浸透膜（ピン式メンブレン 75GPD/80GPD）をお買い求め頂きありがとうございました。
この逆浸透膜をご利用に当っては下記使用基準をご理解の上、ご使用頂きますようお願いします。
※又、手取り足取りの初心者向け資料は作っていません。安価に支給する目的の為、ご容赦下さい。(TEL 下されば対応します)

使用基準	（通水可の条件）	（標準では）
原水	イオン濃度 500ppm 以下・・・	200 以下
濁度	２以下・・・・・・・・・・・	１以下
水温	0 ～ 40℃・・・・・・・・・・	10 ～ 35℃
ＰＨ	２～ 13・・・・・・・・・・・	6 ～ 8
最大圧力	8kgf/㎠以下・・・・・・・・	4 ～ 7kgf/㎠を加圧下さい。
生産能力	075 は 75GPD（285 ﾘｯﾄﾙ / 日　人のおしっこの 1/3 程度の量です）	
除去率	94±3%　（平均）	

① 逆浸透膜（ＴＦＣ）以下の物 “写真”を水道水でご使用の場合は、塩素除去の必要がありますので、
前処理として活性炭フィルターを入口側へ付けて下さって通してください。・・・ここには絵が付いていません。

② 井戸水でご使用の場合は、プレフィルター１～５μ（又は上記の活性炭）のフィルターを買って下さって、
これで前処理をしてください。・・・ここには絵が付いていません。

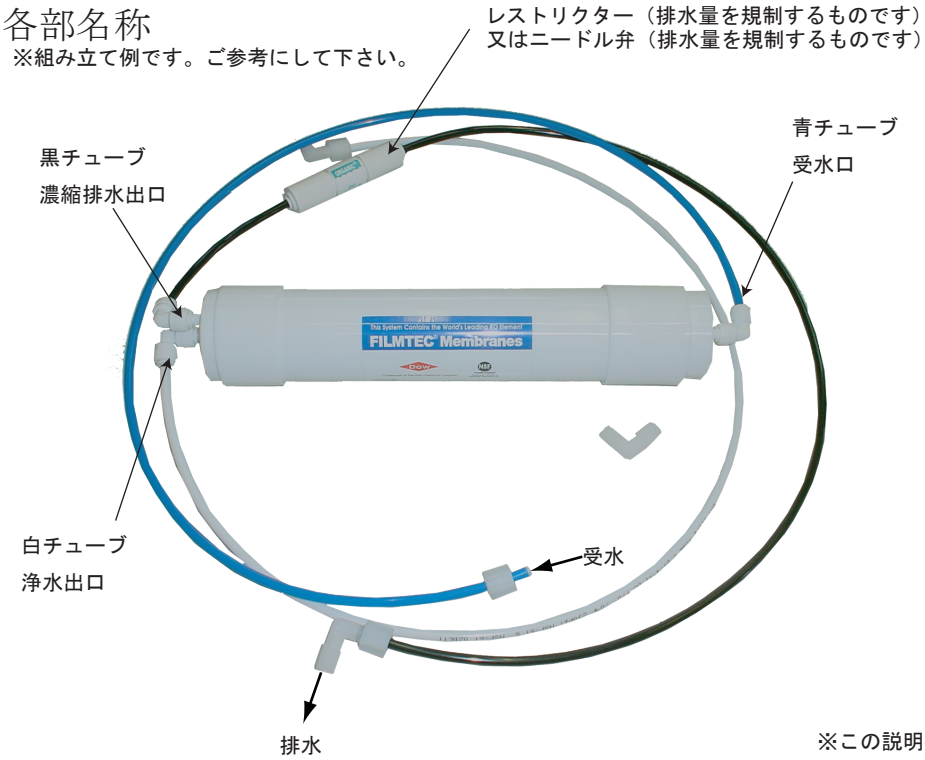
③ 逆浸透膜は受水圧力が高いほど、除去率（純水度）と生産量は UP しますが、８kgf/㎠以下でご使用ください（破れる恐れ）。
普通の水道圧（1 ～ 2kgf/㎠ 程度では、ポタポタとしか出水しません。
・・・ブーストポンプを付加要します。(御質問は TEL 下さい)

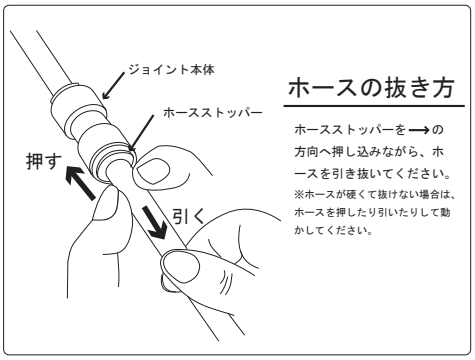
④ 使用基準表示の生産量は水温 25℃、加圧４～ 8kgf/㎠を基準としておりますので、ご使用に当っては水温及び
受水圧力を勘案してご使用ください。

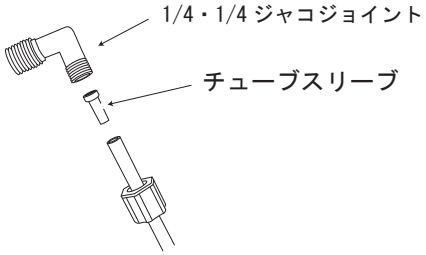
⑤ 水温により浄水の生産量が変化しますが、水温が１℃上がると浄水の生産量が約 1.5%増えます。
逆に１℃下がりますと約 1.5%減ります。・・・温かいほど有利です。

各部名称

※組み立て例です。ご参考にして下さい。







※この説明書は、逆浸透膜のご利用経験者を対象に記述しております。